

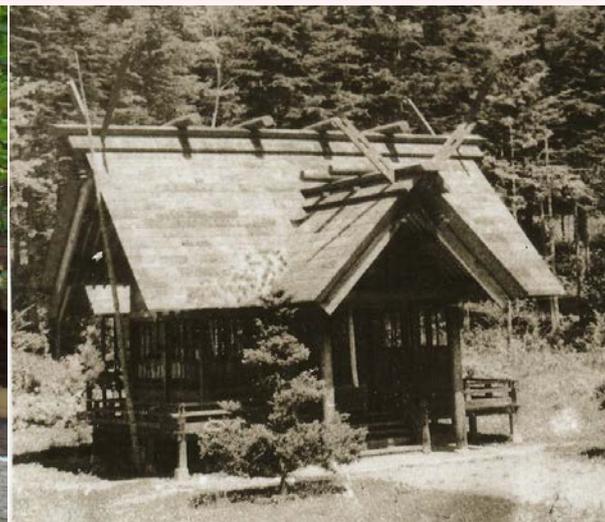
# 浦幌町立博物館だより

2022(令和4)年12月号



編集・発行：浦幌町立博物館 ☎089-5614 北海道十勝郡浦幌町字桜町16-1 / ☎ 015-576-2009 / ✉ info@museum-urahoro.jp

## 乳神さまのお社は炭鉱の生き証人



このたび修復される乳神神社本殿。右は1950年代に撮影された浦幌炭鉱の山神社拜殿。後に隠れている本殿が現在の乳神神社社殿にあたる。

### 乳神神社本殿が修復へ

現在、浦幌神社の境内に祀られている「乳神神社」は、浦幌町瀬多来地区に自生していたミズナラの木が由来とされています。ふたつのコブを持つミズナラの木に祈願すると、母乳が出るよう

になるという言い伝えから、信仰を集めてきました。1962年の台風で木が倒壊すると、コブを御神体として瀬多来神社で祀られるようになりましたが、1982年に浦幌神社へと遷座されました。

今年、浦幌神社境内への鎮座40年を記念し、乳神神社の本殿が修復されることになりました。費用の調達にはクラ

ウドファンディングを活用。多くの方々のご協力で見事目標金額を達成して、現在、修復工事が進められています。

この社殿は、もとは旧浦幌炭鉱にあった「山神社」の本殿です。乳神様の御神徳と共に、ヤマの記憶を伝える生き証人としても、大切に伝えていきたいものです。

(浦幌町立博物館学芸員 持田誠)

### 「博物館の収蔵資料から

こんな資料を集めています!

### 民俗を伝える臼と杵



かつて浦幌町の幾千世集落の農家さんで使われていた臼と杵を寄贈いただきました。幾千世は、近年まで馬頭観音のお祭りでの餅撒きが風物詩だった地区です。

「馬頭祭、ひな祭り、その他なんか行事があると餅をついた。分家と3軒で使い回した」と寄贈者の横山さん。

こうしたモノにまつわるエピソードは、地域の歴史や民俗の大切な記録となります。モノとともに、後世へ語り継いでいきます。(浦幌町立博物館学芸員 持田誠)

### Pick up BOOK [注目の本]

図書館から

### 中高生のスポーツハローワーク スポーツを仕事にしたい君へ



中高生のスポーツハローワーク編集部 編・著  
2022年7月 学研プラス発行 224頁

多くの人が親しんでいるスポーツ。特にプロのスポーツ選手は観客を魅了するエンターテイナーの側面もあり、多くの子どもの憧れの的かつ将来の夢として目指されています。

しかし、スポーツの世界に係る仕事はスポーツを行う「競技者」だけではありません。プロの選手を支える仕事、魅力を伝える仕事など、スポーツに係る仕事を紹介した一冊。

【配架場所】

児童書

分類記号→ 780千

(浦幌町立図書館 司書 部田麻紗乃)



# 12月の博物館お知らせ

## お知らせとお詫び

4月1日より、職員数が減少となったため、土日祝日の展示室への職員配置ができない場合があります。また、電話がなかなかつながりにくいこともあります。職員不在の際は、となりの図書館カウンターへご伝言ください。ご迷惑をおかけいたしましたして申し訳ありません。

## 企画展

### 厚内の博物学者

# 和歌山満のしごと

12月10日(土)



1月15日(日)

厚内出身の中学校理科教師、故和歌山満氏の遺した標本や天体写真を展示し、氏の残した功績を振り返るとともに、地域における在野の博物学者の存在意義を考えます。



天体望遠鏡を使って星を教える和歌山満氏

場所:博物館特別展示ホール

## 巡回展

### 学ぼう北方領土 とかち巡回パネル展



えりかちゃん

11月27日(日)



12月9日(金)

北方領土問題ってなに？  
北方領土ってどんなところ？  
写真やイラストで北方領土を学びます。

場所:博物館ロビー

千島歯舞諸島居住者連盟十勝支部主催・浦幌町立博物館共催

## 座談会

### 「和歌山先生」を語ろう

日時: 12月11日(日)

14:00~15:30

場所: 浦幌町立博物館

申込不要・参加自由



貝の採集や天体観測に取り組み、浦幌の自然を愛していた和歌山先生の思い出を語り合い、博物学者の意義を考えます。

## トピック展

### クリスマスの文化

12月10日(土)



12月25日(日)

場所:博物館ロビー



プレゼピオ、リース、アドベントカレンダーなどクリスマスの文化について紹介します。旧日本福音ルーテル池田教会資料の一部も公開します。

## トピック展関連事業

### クリスマスの讃美歌を うたってみよう!

日時: 12月18日(日)

14:00~15:00

場所: 博物館ロビー

申込不要・参加自由



どこかで聴いたことのあるクリスマスの讃美歌を一緒に歌いながら、クリスマスの歴史を学びます。

協力: おはなしぴあの会

入館料: 無料

開館時間: 10:00 ~ 18:00

バリアフリートイレ完備  
車いす常備

多言語化表記には未対応

学芸員: 1名配置

展示解説の申込み、レファレンス、資料調査等は事前に電話かメールにてお申し込みください。

## 12月 休館カレンダー

日	月	火	水	木	金
				1	2
4	5	6	7	8	9
11	12	13	14	15	16
18	19	20	21	22	23
25	26	27	28	29	30
					31

休館日: 月曜日・祝日の翌日

29日(木)~1月3日(火)は休館。  
1月4日(水)から開館いたします。  
28日(水)は臨時閉館いたします。  
(28日は17時閉館となります)



JR根室本線浦幌駅下車徒歩8分  
帯広駅より普通列車...約1時間  
池田駅より普通列車...約30分  
釧路駅より普通列車...約2時間  
鉄道のご利用が便利です!

### 【運賃】

帯広~浦幌間 1290円(片道)  
釧路~浦幌間 1680円(片道)



駐車場無料  
帯広市より国道38号線約1時間  
釧路市より国道38号線約1時間半  
道東自動車道浦幌ICより約50分



浦幌町立博物館  
The Historical Museum of Urahoro

お申し込み・お問い合わせ: 電話 015-576-2009  
〒089-5614 北海道十勝郡浦幌町字桜町16-1 (図書館併設・役場となり)  
E-mail: info@museum-urahoro.jp / https://museum-urahoro.jp